

# FB55



## 操作マニュアル

# 目次

－はじめに	.....2
－安全に関するお知らせ	.....3
－テクニカルデータ	.....5
－各部の名称	
<外観>	.....6
<ドア内部Ⅰ>	.....7
<ドア内部Ⅱ>	.....8
<操作パネル>	.....9
－マシンの準備	.....10
－工場出荷時の抽出設定について	.....11
－ご使用前に	.....12
－ロールペーパーの取り付け・交換方法(オプション)	.....13
－コインボックスの脱着(オプション)	.....13
－コーヒーの作り方	.....14
－熱湯の抽出	.....16
－営業中に注意すること	.....18
－抽出カウンターについて	.....19
－キースイッチについて(オプション)	.....20

## ーはじめに

○本機は卓上機器として設計されてものです。テーブルや架台、カウンター等の上でご使用ください。

○本機は加圧フィルターを使ったフレッシュブリューワーとして、コーヒーや紅茶を抽出します。また熱湯の供給も可能です。

○本機で使用できるのは、粉状のレギュラーコーヒーもしくはレギュラーティーのみです。

○本来の機能以外に使用された場合、いかなる損傷やトラブルにも当社は責任を負いかねます。

○お客様のご要望により、当社サービスマンがプログラムを変更することが可能です。

○本マニュアルは本機の異なるバージョンを兼ねたものとなっていますので、お客様ご使用のバージョンにはない機能に関する記述が含まれている場合があります。

○以下の仕様を有償オプションとしてご用意しています。

- ー壁掛け式
- ーコインメック
- ーロールペーパー
- ーマルチ抽出カウンター
- ーキースイッチ

○本製品は廃棄する際、一般ゴミとしては扱われません。



所在地の法令・条例にしたがい、産業廃棄物として適切に処理してください。

## —安全に関するお知らせ

- 設置作業ならびに修理は、必ず当社指定のサービス業者に依頼してください
- 純正部品以外は使用しないでください
- ご使用前に、必ず本マニュアルを精読し内容をよく理解したうえで使用してください
- 移動、移設の際は必ず当社指定のサービス業者に依頼してください
- 屋外での使用はできません
- 必ず、取り扱い方法に習熟した方の管理下で使用してください
- 水が飛び散るような場所での使用は避けてください
- 常に電源コンセントに手が届く環境で設置してください
- いかなる条件下でも、マシンを初めて使用する場合や長期間使用していなかった場合には、リンス作業を行ってから使用してください(別冊メンテナンスマニュアル「リンス」参照)
- マシンが抽出する熱い液体に充分注意してください



**抽出ボタンを押したら、絶対に抽出エリアに手などを出さないでください  
ヤケドする恐れがあります**

- ヤケドを避けるため、ポット抽出時には絶対に小さなカップを使用しないでください
- 一旦抽出ボタンを押した後では、カップ(もしくはポット)を途中で取り除いても抽出動作は止まりません。  
液体が出終わって抽出動作が完了するのを待ってください
- クリーニングの際は、ヤケドなどを避けるため体や衣服をマシン本体から充分離してください
- マシンエラーで抽出が完了しなかった場合は、すぐに抽出エリアに手などを出さず、容器を置いたままにして、別冊のトラブルシューティングを参照のうえ、状況を把握してください

- 
- 機能面、衛生面双方の理由から、クリーニング作業は定期的に行なってください
  - クリーニングの際、マシン各部の鋭利なカドなどでケガをしないよう注意してください
  - マシンボディーの拭き掃除は、必ず電源プラグを抜いてから、よく絞った清潔な濡れ雑巾で行なってください。スプレー剤の噴霧や、水に漬け込むことは避けてください
  - 部品を洗浄機で洗わないでください
  - クリーニングならびにスケール除去には、必ず食品機械用の洗剤・薬品を使用してください
  - クリーニング終了後、各部が正しく組み立てられたどうか、よく確認してください
  - 電源プラグを濡れた状態でコンセントに差し込まないでください。また濡れた手で触らないでください
  - 電源ならびに給水接続にあたっては、必ず所在地の法令や規定に従ってください。給水が通じていない状態ではマシンは使用できません
  - 電源は独立した回路の専用コンセントに、アースを取って接続してください。
  - 電源コードが破損した場合は、速やかに当社サービスセンターに連絡をし、当社指定のサービス業者に交換を依頼してください
  - 設置にあたり、漏電ブレーカーと漏水防止弁の取り付けを強くお勧めします

---

## ーテクニカルデータ

**寸法** 高さ: 850mm  
幅: 380mm  
奥行: 360mm

**重量** 30.0kg (メーカー出荷時)

**接続** 給水: 専用ホースによる水道直結(3/4)  
適合水圧 0.8 ~ 10.0bar

電源: 単相200V 50/60Hz  
電源コードー 1.8m

消費電力: 2000W

**容量** ドリップトレイ: 2.0ℓ  
カス入れ: 5.0ℓ  
ホッパー: 1.5kg(挽き粉)・・・約150杯分  
カップ高: 130mm 以内

**その他** 使用環境: 気温0~35°C、湿度80%以下 の室内  
保管環境: 気温-20~70°C の室内

## —ご使用の前に

- 本製品 FB55 はカップやポットなどにコーヒーや紅茶、熱湯を抽出する業務用機器です
- 光センサーの働きによって、使用する容器がカップなのかポットなのかを自動的に判別します
- 抽出エリアに容器が置かれていない状態では、抽出できない安全設計になっています。  
この機能は、ポットに対してのみ解除あるいはカップ・ポット両方に対して解除することができます

カップセンサー作動中：抽出エリアに何らかの容器がないと抽出できません

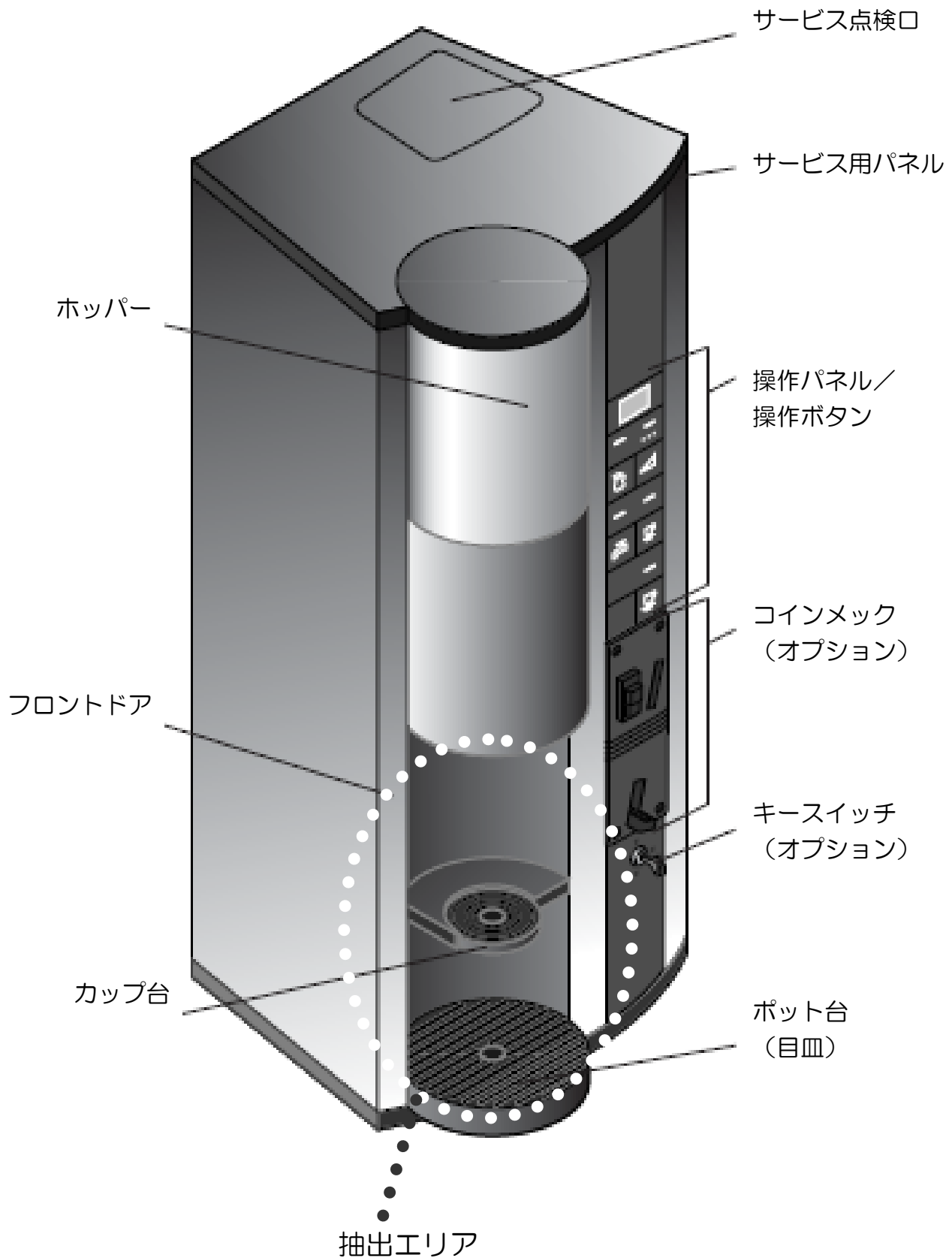
カップセンサー停止中：抽出エリアに容器がなくても抽出できます



容器なしでカップ台を格納してボタン操作をしないでください  
また、カップセンサー停止中はむやみにカップエリアに手などを出さないでください  
ヤケドの恐れがあります

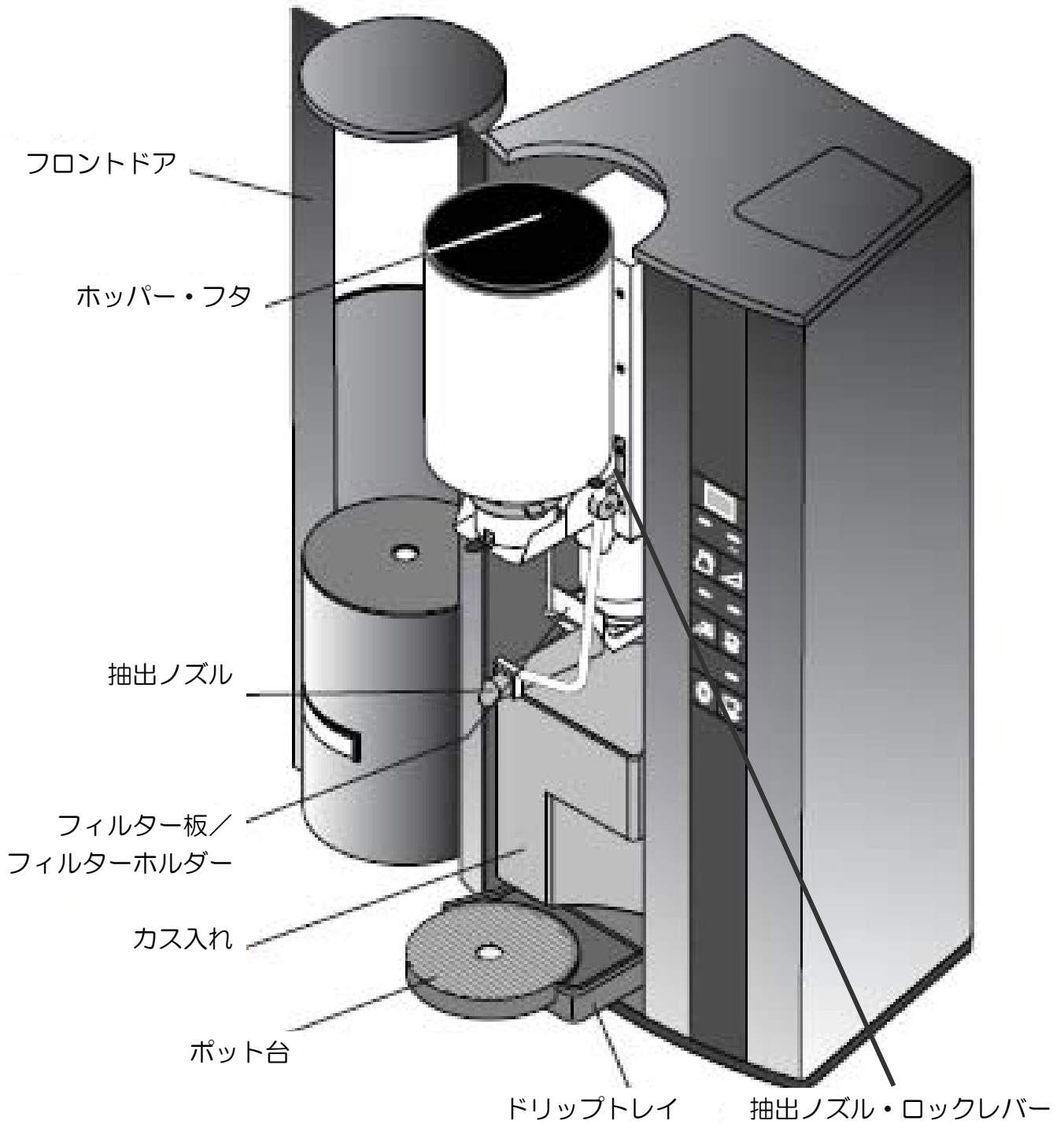
- 抽出濃度と抽出量はプログラム可能です
- 熱湯は定量抽出か連続抽出いずれかに設定することができます
- コインメックもしくはカードリーダー（いずれもオプション）装着時は、コイン投入／カード読み取り後に抽出ボタンを押して抽出します。抽出終了後は信号音が鳴ります
- 紅茶抽出時には必ずペーパーフィルターを使用してください。コーヒーはペーパーフィルターなしでも使用できますが、極細挽きの粉を使用すると、抽出液に微粉が含まれる場合があります
- 粉状のレギュラーコーヒー、レギュラーティー以外は使用しないでください。また、コーヒー・紅茶兼用で使用する場合には、それぞれに専用のフィルター板を用意してください
- 長期間マシンを使用しない場合には、電源プラグを抜き、給水弁を閉じておいてください

## —各部の名称 &lt;外観&gt;

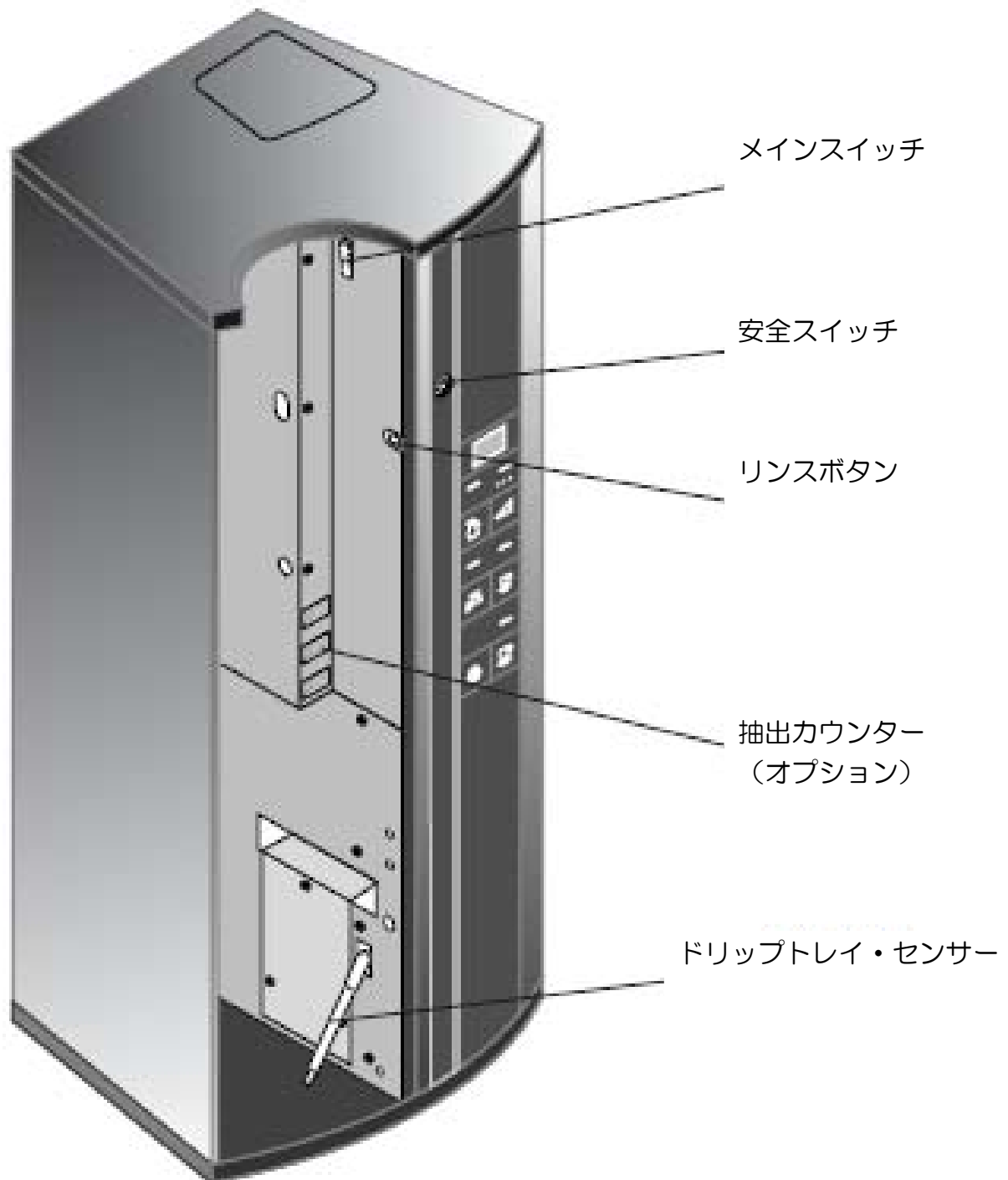




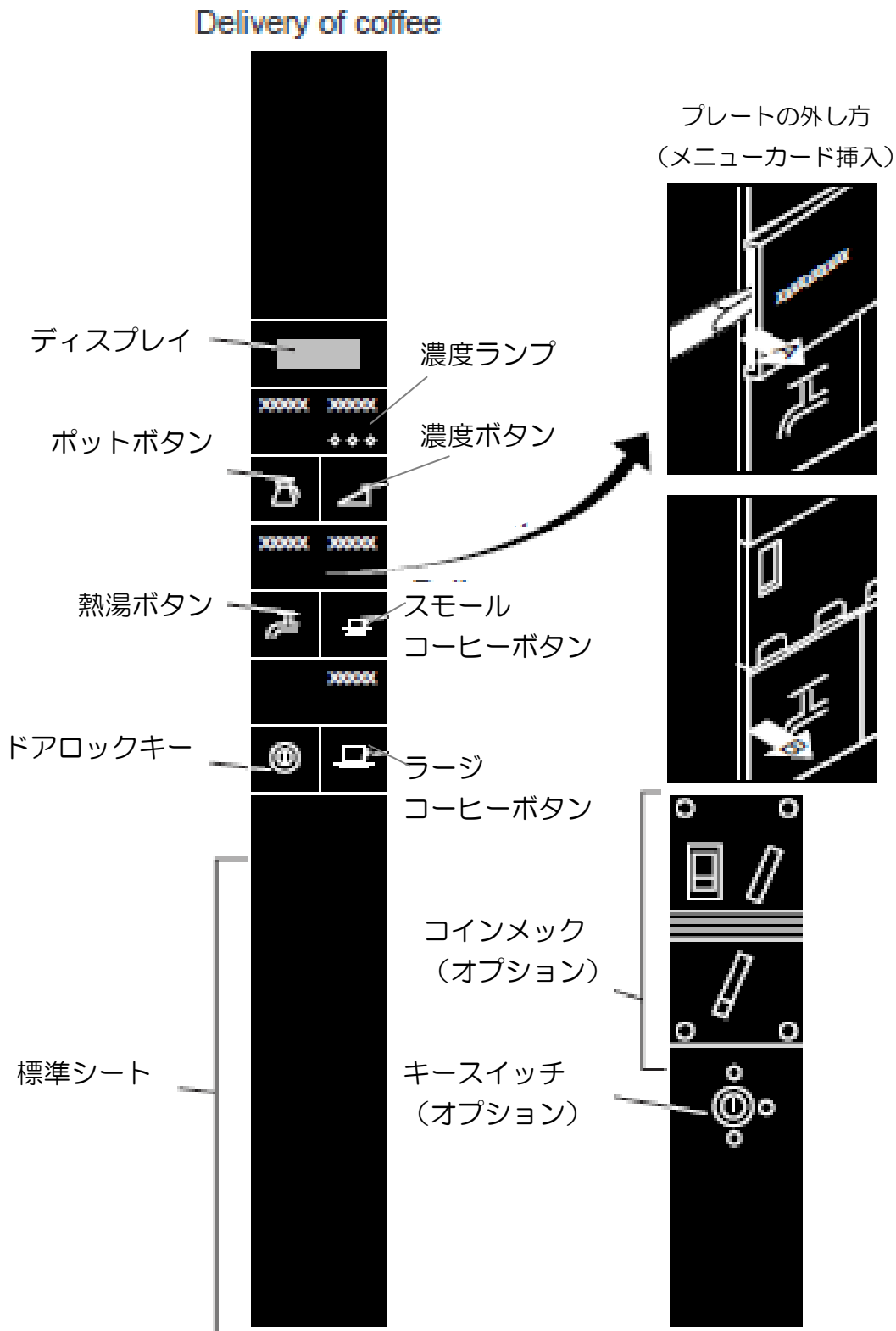
—各部の名称 <ドア内部 I>



—各部の名称 <ドア内部Ⅱ>



—各部の名称 <操作パネル>



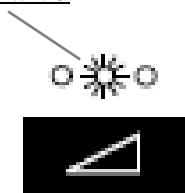
## ーマシンの準備



Fig. 1

1. 給水弁を開きます
2. 電源プラグをつなぎます
3. フロントドアを開きます
4. メインスイッチをオンにします(図 1-1)  
マシンの状態により、電源投入時、自動的に初期動作を行なう場合があります(初期動作:スタンバイ状態への復帰)
5. フロントドアを閉じます
6. ボイラーが満水になるのを待ちます
7. フロントドアを開きます
8. 初めて使用する場合は、リンスを行なってください  
(メンテナンスマニュアル「リンス」参照)
9. ホッパーのフタを取ってコーヒー(紅茶)の粉を投入し、フタを戻します  
(図 2-2)

濃度ランプ点灯



10. フロントドアを閉じます (“LO”表示になります)
11. 適温になると、濃度ランプのLEDが点灯し、“LO”表示が消えれば使用可能です

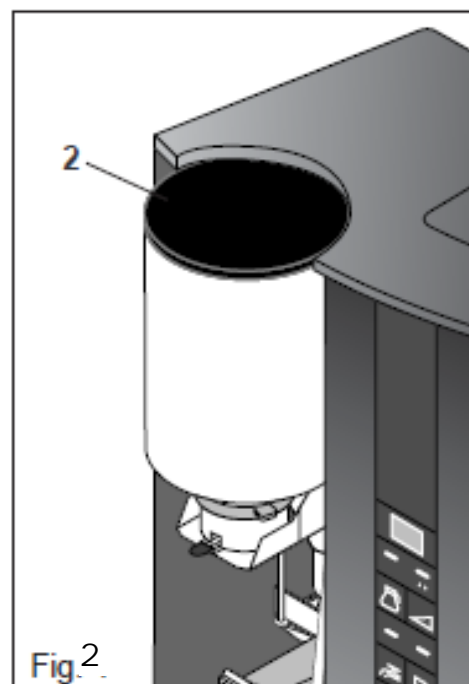


Fig. 2

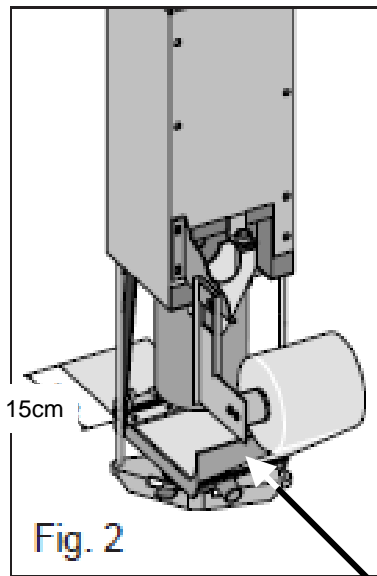
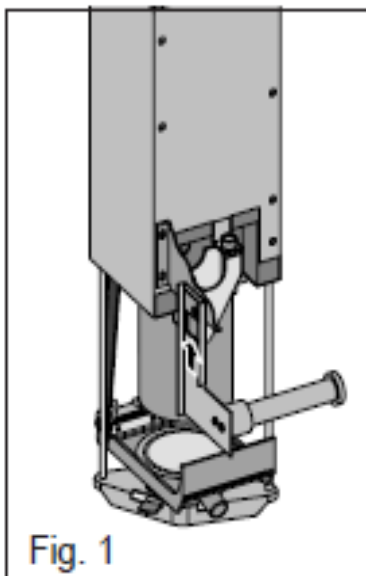
## ーロールペーパーの取り付け、交換方法

紅茶には、必ずペーパーフィルターを使用してください

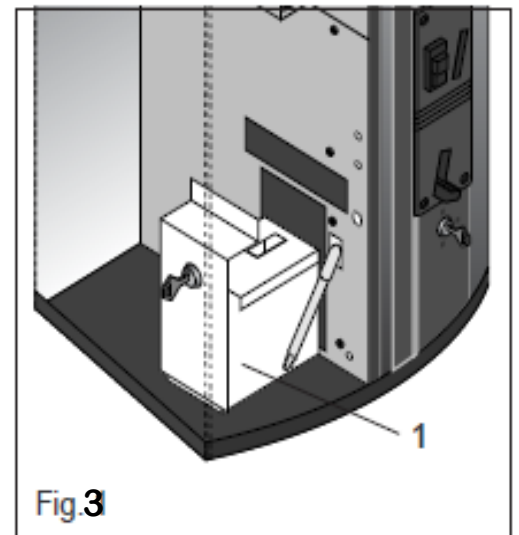
必ず本機専用のロールペーパーを使用してください

1. フロントドアを開きます
2. 抽出ノズルを、上部のロックレバーを解除しながら、上へ持ち上げます。
3. ペーパーホルダーを、図1のように上へ持ち上げてフックを外し、本体から取り外します
4. ペーパーホルダーにロールペーパーを差し込みます。この時ロールの向きに注意してください  
図2のように、ペーパーの端が手前から下へ垂れる向きにします
5. 手前に垂れたペーパーの端を、フィルターホルダー正面のすき間に差し込みます
6. そのまま端を持って奥へ引っ張り、カス入れ内に15cm程度たらしめます
7. 抽出ノズルを戻して取り付け完了です

(ロールペーパーの取り付け・交換)



(コインボックスの脱着)



すき間に差し入れる

## ーコインボックスの脱着 (オプション、コインメック装着時)

1. フロントドアを開きます
2. ドリフトレイを取り外します
3. 図のように鍵を開けてコインボックスを引き出します(図3)
4. 逆の手順で取り付けます

## －工場出荷時の抽出設定について

### ●熱湯:

連続抽出に設定されています。

この設定はプログラムにより定量抽出に変更することができます

(プログラム・マニュアル「熱湯抽出」参照)

(a) 連続抽出・・・ボタンを押している間、お湯を抽出し続けます



**湯温が下がってくると抽出は停止します**

プログラムにより、この自動停止機能は解除することができます

(プログラム・マニュアル「湯温低下時の抽出」参照)

(b) 定量抽出・・・ボタンを短く1回押すと、プログラムされた定量が抽出され、自動的に停止します。再度ボタンを押して途中で止めることもできます

### ●コーヒー:

ラージコーヒー、スモールコーヒーともに定量抽出に設定されています。

ボタンを短く1回押すと、プログラムされた定量が抽出され、自動的に停止します

再度ボタンを押して途中で止めることもできます

### ●ポット:

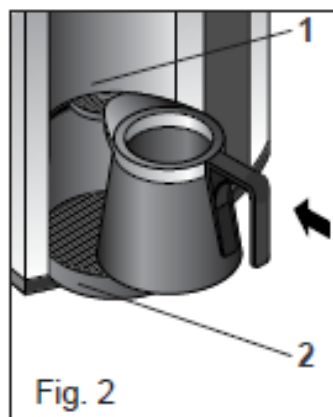
5回繰返して抽出される設定になっています

ポットボタンを1回押すと“Multibrew 5”と表示されます

さらにボタンを押して6, 7, 8, 9, 0, 1・・・と回数を変更することができます

初期設定値の“5”を0～9の任意の回数に変更することも可能です

## ーコーヒーの作り方



### ●カップへの抽出(図 1)



1. カップ台にカップを置きます(高さ 130mm 以上のマグなどは置けません)



2. 濃度ボタンで好みの濃さを選びます (標準→ストロング→マイルド)



3. 抽出ボタンを押します

→ラージコーヒーボタン



→スモールコーヒーボタン

**※ 2種類の抽出量はそれぞれプログラムできます (プログラムマニュアル「抽出量の設定」参照)**

### ●ポットへの抽出(図 2)

1. カップ台を奥へ押し込むようにしながら、ポット台にポットを置きます。



十分な重量のないポットの場合、カップ台が戻ってしまうことがあります。

手を添えておくなどして、ポットを床に落として破損させぬよう注意してください



2. 濃度ボタンで好みの濃さを選びます

3. 抽出回数を選びます(最大9回まで)



必要な回数が表示されるまでポットボタンを押します

ボタンを押すごとに数字が増えていき、9の次は0に戻ります

ポットボタンを押して最初に表示される回数(初期値)を、あらかじめプログラムしておくことができます。工場出荷時は“5”に設定してあります



#### 4. 抽出ボタンを押します

ラージコーヒー、スモールコーヒーいずれか好みの量を選びます  
抽出中は濃度ランプが点滅します



#### 5. 指定された回数の抽出が完了すると信号音が鳴ります

ポットを取り出すと、カップ台は自動的に元の位置に戻ります



一旦抽出ボタンを押して抽出が始まってしまうと、ポットを取り出しても抽出は止まりません。ヤケドに注意してください



抽出ボタンを押しても作動しない場合には、ポットを置き直してみてください



ポット抽出中にドリフトレイが満杯になると、その回の抽出のみ完了させ、残りの回数は中止します。ディスプレイはエラー(“E6”)表示になります

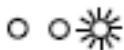
### ●濃度の選択



初期の状態...



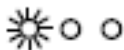
標準(Normal): 通常はこれが選択されています



ボタンを1回押す...



濃い(Strong): 標準よりも濃くなります(粉量が多い)



ボタンを2回押す...



薄い(Mild): 標準より薄くなります(粉量が少ない)



ボタンを3回押す...



標準(Normal)に戻ります



いずれの濃度を選択しても、抽出完了とともに標準(Normal)に戻ります  
また、選択後そのまま20秒経つと標準(Normal)に自動復帰します

※ 3種類の粉量はそれぞれプログラムできます (プログラムマニュアル「濃度の設定」参照)



## 一 熱湯の抽出

給湯方法として、あらかじめ連続抽出、定量抽出のいずれかに設定しておくことができます



定量抽出の場合、一旦熱湯ボタンを押して抽出が始まってしまうと、途中で容器を取り出しても抽出は止まりません。ヤケドに注意してください



定量抽出の場合、熱湯が容器から溢れないよう、十分に余裕のある容器を使用してください



連続抽出を行なうと、ボイラー内の湯温を低下して抽出を自動停止する場合があります(“LO”表示)。適温になるまでは、ボタンから指を離して表示が消えるのを待ってください

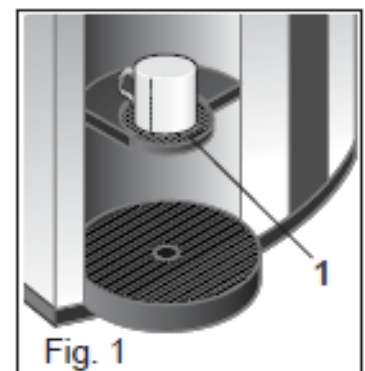
### ● カップ抽出

1. カップ台にカップを置きます(図 1)

#### 連続抽出の場合



2. 好みの量が出るまでボタンを押し続けます



#### 定量抽出の場合



2. ボタンを1回だけ押して、自動的に止まるのを待ちます

## ●ポット抽出

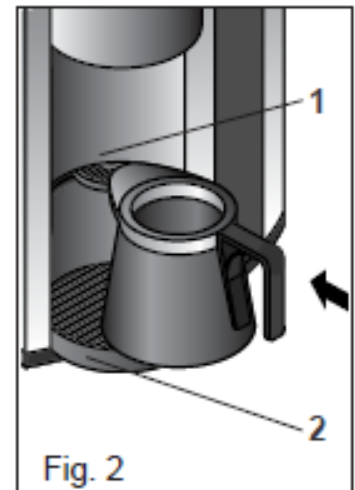
1. カップ台を奥へ押し込むようにしながら、ポット台にポットを置きます(図2)

十分な重量のないポットの場合、カップ台が戻ってしまうことがあります。  
手を添えておくなどして、ポットを床に落として破損させぬよう注意してください

### 連続抽出の場合



2. 好みの量が出るまでボタンを押し続けます



### 定量抽出の場合



2. 抽出回数を選びます(最大9回まで)

必要な回数が表示されるまでポットボタンを押します  
ボタンを押すごとに数字が増えていき、9の次は0に戻ります

ポットボタンを押して最初に表示される回数(初期値)を、あらかじめプログラムしておくことができます。工場出荷時は“5”に設定してあります



3. 熱湯ボタンを1回押します  
抽出中は濃度ランプが点滅します

4. 指定された回数の抽出が完了すると信号音が鳴ります  
ポットを取り出すと、カップ台は自動的に元の位置に戻ります

## 一 営業中の注意点(随時)

- コーヒー(紅茶)粉を補充する  
粉の残量が少なくなったら、  
フロントドアを開き、ホッパーに粉を静かに入れます

- ドリップトレイの中身を確認する  
粉を補充した際に、  
目皿を持ち上げ、コーヒー等の液体が溜まっていないか確認します  
(排水管に直結している場合は不要です)

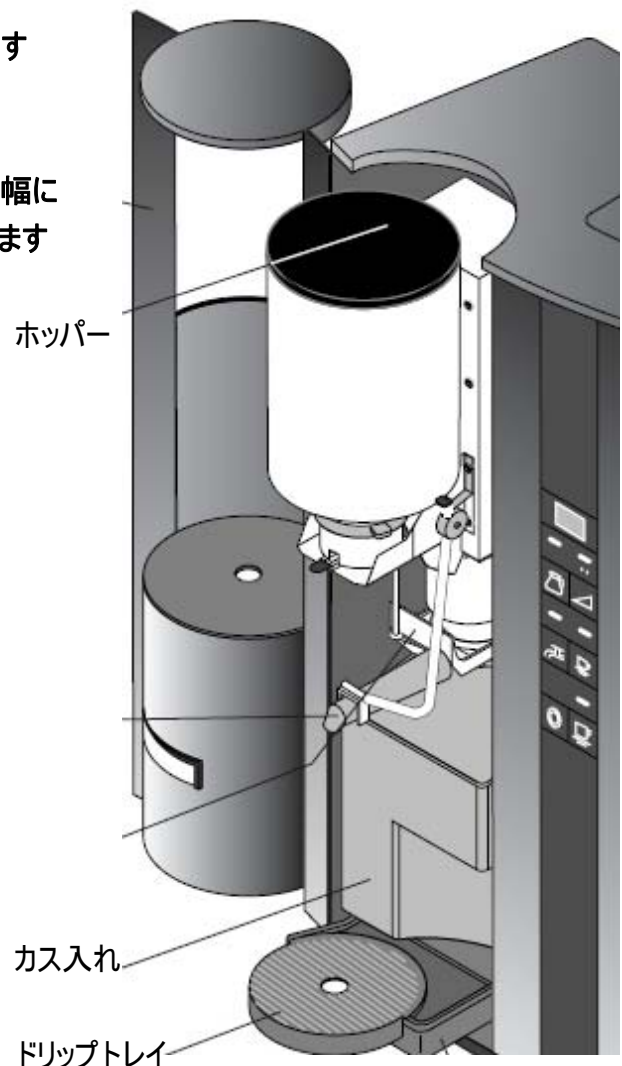
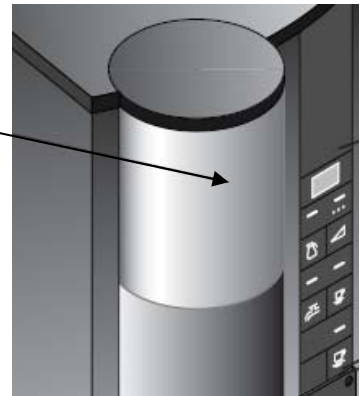
- カスを捨てる  
粉を補充した際にはさらに、  
必ずカス入れの中身を捨ててください  
本機にカス入れ満杯時のアラーム機能はありません

かす入れからカスが溢れると故障の原因となります  
常に溜まり具合に気を配ってください

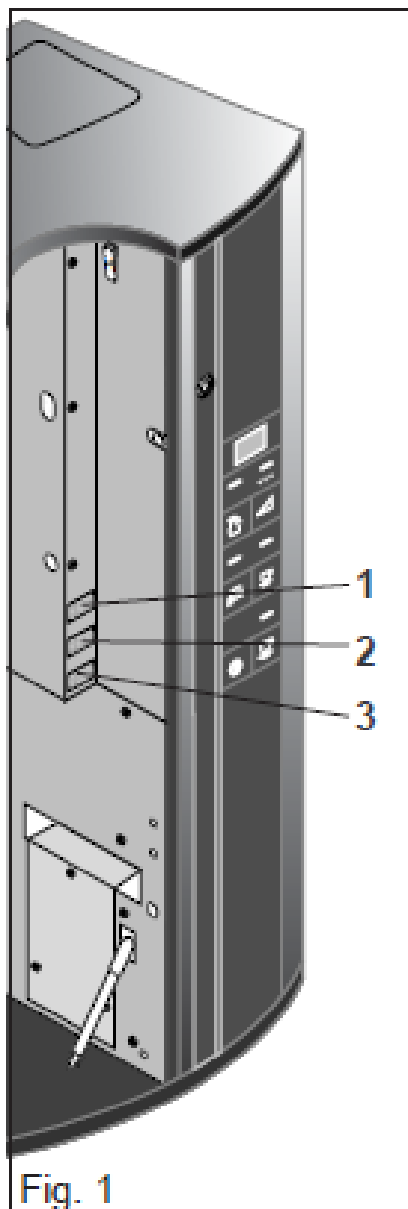
ロールペーパーを使用すると、カス入れ容量が大幅に  
小さくなるので、捨てる頻度を増やす必要があります

<ホッパー外観>

残量を確認



## ー抽出カウンターについて



○フロントドア内部右寄りに、抽出カウンターがあります(図1)

○カウンター数は、マシンが工場を出荷されてからの累計抽出回数を示しています

○標準機では1基のみ、  
ラージコーヒーとスモールコーヒーの合計数をカウントします  
ポット抽出は回数分を加算します。熱湯はカウントしません

○以下はオプションです  
いずれもポット抽出は回数分を加算します

図 1- 1 … ラージコーヒーのみ  
2 … スモールコーヒーのみ  
3 … 熱湯のみ

○いずれのカウンターもリセットできません

## ーキースイッチ（オプション）



0 通常機能

コインメック／カードリーダーが有効時には「フリーモード」は使えません



1 抽出機能停止、

プログラム機能、リンス機能は有効です。ポンプ・ヒーターなども通電しています



2 通常機能

コインメック／カードリーダー有効時でも「フリーモード」で使用できます

※キーはいずれのポジションでも抜き取ることができます



コインメック／カードリーダーが有効な時、ポット抽出はできません

キーポジションが 2 の場合にのみ可能となります（ただしフリーモード）